

てんようかい だより



在宅ケアセンター さくらじま
● 居宅介護支援事業所 さくらじま
● 訪問看護ステーション さくらじま



西側から見た
天陽会 中央病院



在宅ケアセンター あさひ
● 居宅介護支援事業所 あさひ



グループホーム さくらじま



介護老人保健施設 あさひ



桜島病院



東側から見た
天陽会 中央クリニック



MGH (メイザングランドハイツ)
● 2F・3F 天陽会保育園
● 4F～9F 職員寮

平成31年新年の挨拶



社会医療法人 天陽会 理事長 厚地 良彦

皆さん新年明けましておめでとうございます。
平成最後の良い新年を迎えられたことと思います。4月1日新元号発表5月からは新しい元号の時代が始まります。

さて、今年はどういう年になるのでしょうか。

グローバル化の時代です。世界、日本、鹿児島、天陽会そして私個人と順を追って話してみます。

世界で一番気になることはアメリカと中国の覇権争いです。昨年は貿易戦争が大きく問題となりました。両国がお互いの輸入品に高いTariff、関税をかけあうという争いでした。最初に高い関税かけたのはトランプ大統領のアメリカでした。何故そのような貿易戦争がはじまったかということ、根本的な問題は戦後アメリカが築いてきた世界における自由民主主義、人権尊重、法律に従って行動規範を行うという世界のシステムを人権、法律など全く無視する中国、例えばノーベル文学賞をもらった劉氏を人権擁護派として監獄にいれそこで獄死させる、フィリピンに所属する島々を勝手に埋めてミサイル基地を勝手に作り、フィリピンが国際海洋裁判所に訴えたところ、違法と判決がでて「そんな判決は紙切れ」など法を守らない、習 近平主席が「一帯一路」の名の下、スリランカ、パキスタン、モルデブなどに金を貸して返済ができなくなると重要な其の国の土地、港湾施設などを99年租借するといった新植民地主義を行使してとって変わろうとしている。他の国が中国に企業を設立すると其の外国企業の重要な企業秘密を強制的に中国に移転させる、アメリカの最先端の知的財産をあらゆる手段を通じて盗み取る行為をする。このことが中国の通信機器の大手ファーウェイの副社長の孟晩舟女史をカナダで逮捕するという事件に発展しております。怒傍若無

人な一党独裁の共産党の中国に対してアメリカが堪忍袋の緒が切れ、怒り心頭に発し、怒りが爆発したとっていいと思います。トゥキデイスの罠（Taucydides Trap）に陥らなければいいですが、古代ギリシャでは覇権国スパルタが新興国アテネの台頭に危機感を抱き、国家がぶつかり合う、すなわち戦争になりました。現代に置き換えますと、急速に台頭してきた中国と、既成の支配的大国アメリカとライバル関係に発展する際に、それぞれの立場を巡り摩擦がおこり、当初はお互い望まないが最後は直接的な抗争になることをいう。新元号時代には南シナ海や台湾を巡る問題で日本も巻き込まれる戦争があるやもしれません。アメリカと中国はお互い核兵器を持っているので全面戦争は多分ないでしょうが、勿論、当然ないことを望みますが、南シナ海、東シナ海をめぐる紛争では局地戦が予測され、日本も無関係ではおれなくなるのではないかと危惧しています。

国内の動きでは昨年は災害の多い年でした。西日本豪雨、北海道地震、2018年「今年の漢字」でも『災い』が選ばれました。地球温暖化により台風発生なども多くはなっても少なくはならないと思います。災害に備えた心の準備が益々必要になる気がします。昨年12月11ヶ国でTPP（環太平洋戦略的経済連携）協定が発行されました。日本、カナダ、メキシコ、ペルー、チリ、ベトナム、マレーシア、ブルネイ、シンガポール、オーストラリア、ニュージーランドの5億人で世界のGDPの13%となります。最初はアメリカも入っておりましたが、トランプ大統領が離脱し、一時は合意ならずかと危ぶまりましたが、安倍首相がリーダーシップを発揮してまとめあげました。このTPPは段階的に関税をゼロにするものですが、日本は工業製品は自動車などで強いですが、農業が心配です。日本の食料自給率は40%をきり38%ほどですから、食料安全保障の面からも国にしっかりと舵取りをお願いしたいものです。2月からアメリカと2ヶ国間貿易交渉が始まりますが、TPPを一つの武器として交渉するの

ではないかと思っています。5月1日には新天皇の即位、それに伴い祝日がふえ4月末から5月始めは10連休となるようです。医療体制を考える必要があるでしょう。6月はG20会議、7月には参議院選挙があります。

県内の動きでは中央病院地域環境もここ数年で大きく変貌しようとしています。少し距離はありますが天文館地域の改造が始まり2020年は完了し、中央駅付近に匹敵する若者が集う施設ができればいいと思っています。近くは現在工事中で2019年には完成予定の鹿児島銀行の本店の1、2階には商業施設が入居する予定と聞いております。銀行は午後3時には店を閉めますので周辺は人通りが少なくなりますが、地域の賑やかさを山形屋と共に保つためには大変いいことであると思います。2020年にはドルフィンポート跡がどういう風に変貌するかのことです。サッカースタジアムとか商業施設とかいろいろ案は出ているようですがここ1年内には具体的になるでしょう。同時に市電がいずろから延長されてドルフィンポートの駐車場を経て鹿児島駅の方へ延びるともいわれております。いずれにしても往来が多くなることは天陽会にとってはプラスになることは間違いありません。

天陽会の話に移ります。昭和時代の天陽会は昭和22年から64年までは今村健一先生の牛根の小さな12床の診療所に始まり、新田典孝医師の桜島病院の時代であったといえます。平成時代に入り平成2年にB棟の完成を待って桜島病院の150床から70床を移転し、診療拠点の中心を桜島から鹿児島市に移転、循環器を中心に発展してきたといっても過言ではないと思います。その後ハードの面では3つ病

棟A、B、C棟、2つのクリニック棟、老人保健施設あさひ、特別養護老人ホーム桜島苑、そして2つの寮と保育園の完成です。このようにハード面では平成時代に延びてまいりました。次に求められるものはソフト面で更なる充実です。特に循環器部門では県内ではどの施設にも勝るとも劣らぬ診療内容を人的にも、施設面でも構築していかなければならないと思います。夢は大きくといますが既に多くの施設(2018年8月時点、約300台導入15施設が認定施設)で導入されているダビンチ、ロボット手術などは近い将来に現実化を見据えております。

私自身ですが新しい時代に向けて今年77歳の喜寿を迎える身ではあります。このような年齢になりますと、病気の地雷源を歩いているようなものです。一步間違えて踏みますと、手足が吹っ飛び、あるいは命その物も飛んでしまいます。探知機をもってその地雷を踏まずにしないようにしたいものです。最後に江戸時代の儒学者佐藤一斎の『言志晩録』第60条より

少なくして学べば、即ち壮にして為すことあり

壮して学べば、則ち老いて衰えず

老いて学べば、即ち死して朽ちず

の気概を持って朽ちないように次の新時代の30年を健康に留意しながら生きていこうという気持です。皆さんと手と手を取りあって天陽会の発展のために頑張る所存です。

備考：トゥキディデスの畏；古代アテネの歴史家トゥキディデスに因む言葉で、アメリカの政治学者グレサム・アリソンが作った造語



ホームページをリニューアルしました (スマートフォンにも対応)



<https://www.tenyoukai.jp>

この度、中央病院・中央クリニックのホームページを全面リニューアル致しました。より使いやすく、よりわかりやすいホームページとなるように、ページ構成やデザインを全体的に見直しました。

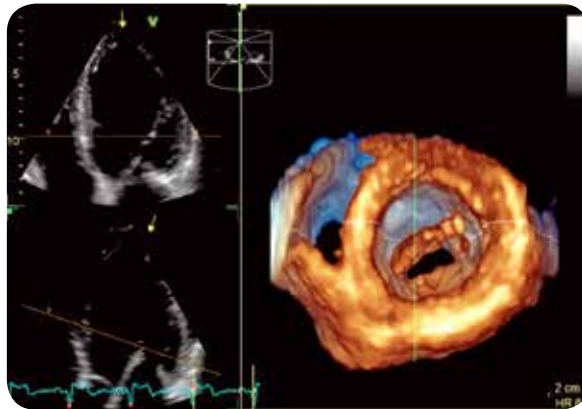
また、パソコンの他にスマートフォンやタブレットからアクセスした際にも快適で見やすくなりました。今後も、より利便性の高いホームページを目指し内容を充実させていきます。

中央病院に超音波検査室が新設されました

今回、中央病院1階（救急外来正面）に超音波検査室が2室新設されました。それに伴い、心・血管超音波検査用にGE社製【VIVID E95】、腹部・表在超音波検査用にGE社製【LOGIQ E9】をそれぞれ新たに導入致しました。

主に入院中の患者さんを対象に、心・血管系の検査を『超音波検査室1』で、腹部・表在系の検査を『超音波検査室2』で行います。また、それらの機器を使用して、救急外来での検査にも対応しようと考えております。今まで救急車で来院された緊急の患者さんは、小型の簡易超音波機器で検査を行ってまいりました。今後は新規に導入した機器を使用する事により、より高度で精密な超音波検査が可能となります。

入院患者さんの検査移動負担軽減と、救急外来での救命率向上の一助となれることを確信しています。



僧帽弁3次元画像



GE社製VIVID E95

第10回 社会医療法人天陽会中央病院・中央クリニック 市民公開講座 報告

多数のご参加ありがとうございました

平成30年10月14日 宝山ホールにて、第10回社会医療法人天陽会中央病院・中央クリニック市民公開講座が開催されました。1000名を超える多くの方にお越しいただき誠にありがとうございました。

前半は循環器内科医 井上尊文より『血圧って…』、心臓血管外科医 上野正裕より『あなたの足 むくんでいませんか?』、肝臓内科医 伊集院裕康より『本当は恐い脂肪肝』、外科医 益満幸一郎より『いまどきの脱腸（鼠経ヘルニア）の治療法』というタイトルでご講演いただきました。

後半は東京大学名誉教授 養老孟司先生をお招きして、『養老流 人生を楽しむ極意』のご講演いただきました。時に笑いあり、先生の貴重な経験談や思いを興味深く拝聴致しました。充実した時間を過ごすことができました。



気になる、冬の感染症!!

毎日、寒い日が続いています。

今、気になる**冬の2大感染症**についてお話します。



インフルエンザ

インフルエンザの予防法は、何と言っても

①咳エチケット

- 人ごみに出るときは、マスクを着用！
- 咳やくしゃみがでるときは、マスクを着用する！
- 咳やくしゃみをするときは、口や鼻をティッシュで覆う！
- 使ったティッシュは、すぐにゴミ箱に捨てる！



②手洗い

- 手軽にできるアルコール手指消毒剤が有効！ドラッグストアやスーパー等でも購入できます。
- 水道で洗うなら、石けんを十分に泡立てて、1分間、しっかり洗いましょう！

③マメ知識

ドアノブやリモコン類、エレベーターのボタンなど、不特定多数の人が触った場所には、ウイルスがついていることがあります。そのままの手で、鼻や目を触ると、粘膜からウイルスが体内に侵入して感染することがあります。外出先でもマメに手洗いをしましょう！

ノロウイルス

ノロウイルスの予防法は、

とにかく手洗いと食品の十分な加熱!!

- ノロウイルスは乾燥に非常に強く、軽いという特徴があり、嘔吐物の処理や手洗いが不十分な場合、乾燥して空気中を浮遊して、私達の口や鼻から侵入します。
- 二枚貝などのウイルスが蓄積された食品の生または不十分な加熱のまま摂取することも体内への侵入の原因になります。



みなさん、元気に冬を乗り越えてください!!

レストランさくら

外来クリニック棟7階に患者さん専用のレストラン「さくら」があります。
(エレベーターで7階に上がり左側です。)

【営業時間】 11:00～15:00

【メニュー】 *日替わり定食 *日替わり麺 *週替わりカレー
(各ドリンク・デザート付) 各¥650
*うどん *そば 各¥450
*ホットサンド(軽食)
(ドリンク付) ¥450

3種類の日替わりメニューと、うどん・そば・軽食をご用意しておりますので、ぜひお立ち寄り下さい。

スタッフ一同お待ちしております。



* 1Fでの紹介 *



* さくらの入り口 *



* 中の様子 *



* 日替わり定食 *



* 日替わり麺 *



* 週替わりカレー *

桜島病院からのお知らせ

～健康祭り～

11月18日、桜島病院にて今年も健康祭りが盛大に開催されました。当日は天気に恵まれ、多くの方々に来場していただきました。検診コーナーや屋外販売コーナー、イベントコーナーがありましたが来場された方々が楽しそうに過ごしている様子を見て、健康への関心や地域で催し物を開催することの大切さを改めて感じました。これからも健康祭りを続けていくことで、地域とのつながりを大切にしていきます。



検診コーナーは大忙し！



屋外の販売所は大賑わい！



大迫力の太鼓の演奏

～餅つき大会～

12月28日、毎年恒例となっている桜島病院もちつき大会を実施しました。参加された入院患者さんは、80歳以上のもちつきのベテランばかりです。「もう、ついていいの？」「水はまだ？」職員の方が、患者さんに聞いてばかりでした。患者さんのご協力もあり、今年も立派なもちができました。いっぱい笑顔を見ることができ、1年のしめくくりと新年を迎える喜びを感じて頂ける行事となりました。



「よいしょー！よいしょー！」



きれいに形を整えます

～ 島ん岳だより～

～ グループホームさくらじまより～

● 手作りのお節料理

1月1日元旦にグループホームでは毎年恒例のお節料理を作り、お昼に入居者の皆さんとスタッフでいただきました。中には面会に来られた御家族と一緒に召し上がられる方もおり、御家族はスタッフ手作りのお節料理を絶賛されていました。

平成最後の年ですが元気に1年すごせますように。



家族と一緒に「はい、チーズ!」



とってもおいしそう!!



● 桜島火山爆発総合防災訓練

1月12日、今年も桜島火山爆発防災訓練の季節がやってきました。今年も桜島病院とグループホームさくらじまが合同で避難所である桜島国際火山砂防センターへ避難し、点呼を取った後、終了となりました。近年、自然災害が猛威をふるっています。災害はいつ発生するか分かりません。いつ災害が発生してもあわてない様に日頃の訓練と準備が大切です。



避難準備完了!!



車に乗って「さあ、出発」



無事に避難所に到着しました

天陽会の理念

天の陽のごとく
医療をつうじて
地域に永遠に貢献します。

天陽会の基本方針

1. 信頼される24時間救急体制
2. 医療を通じて地域社会に奉仕
3. 新技術と新設備の導入による職場環境の創造
4. 患者さんの権利を尊重する医療

患者さんの権利

1. 患者さんは、人格を尊重した医療を受ける権利があります。
2. 患者さんは、自らの意思で医療機関と医師を選ぶ権利及び他の医療機関、医師に相談する権利があります。
3. 患者さんは、十分な説明を受け、説明と同意のうえで適切かつ良質な医療を受ける権利あるいは拒否する権利があります。
4. 患者さんは、個人情報について保護される権利と情報開示を請求する権利があります。
5. 患者さんは、その社会的経済的地位・国籍・人権・宗教・年齢・性別・病気の種類等によって差別されることなく、良質な医療を受ける権利があります。
6. 患者さんは、医療費の明細、医療費の公的援助に関する情報などを受ける権利があります。
7. 患者さんは、意識がない、あるいは判断能力に欠く場合であっても、他の患者と同等の権利が保障されるよう、代諾者に決定をゆだねる権利があります。
8. 患者さんは、疾病の予防及び早期発見についての手法や保健サービスの利用等を含めた健康教育を受ける権利があります。

看護職・保育士募集 医事課職員募集



あなたも私たちと一緒に働きませんか?

*就職ご希望の方は、人事課 東までご連絡下さい

099(226)8181

(詳細は当院ホームページをご覧ください)

社会医療法人 天陽会

内科・外科・循環器内科・心臓血管外科・消化器内科・乳腺外科・甲状腺外科・眼科・整形外科
肛門外科・放射線科・緩和ケア科・リハビリテーション科・呼吸器内科・肝臓内科・内分泌内科・麻酔科
救急科・人工透析・高気圧酸素療法・人間ドック

中央病院

【診療時間】

月～土 8:30～13:00
14:00～17:30

- 日本医療機能評価認定病院
- 鹿児島CCUネットワーク病院
- 日本緩和学会認定研修施設
- 麻酔科認定病院研修施設
- 三学会構成心臓血管外科専門医関連認定施設
- 許可病床(219床)・7:1入院基本料(185床)
特定集中治療室(12床)・ハイケアユニット(8床)
緩和ケア病棟(14床)
- 循環器専門医研修施設
- 外科専門医関連施設
- 超音波専門医研修施設
- 日本消化器病学会関連施設

〒892-0822 鹿児島市泉町6-7
Tel. 099-226-8181 Fax. 099-224-2752

天陽会中央クリニック

【診療時間】

月～土 8:30～13:00
14:00～17:30

〒892-0822 鹿児島市泉町16-1
Tel. 099-225-8650 Fax. 099-225-8610

桜島病院

【診療時間】

月～土 8:30～12:00
13:30～17:30

- 日本医療機能評価認定病院
- 介護療養型医療施設(16床)
- 療養型医療施設(39床)
- 通所リハビリテーション(36人)

〒891-1541 鹿児島市野尻町59
Tel. 099-221-2031 Fax. 099-221-3225

介護老人保健施設 あさひ

- 入所療養介護(50人)
- 通所リハビリテーション(30人)
- 短期入所療養介護・訪問給食サービス

〒892-0822 鹿児島市泉町8-2
Tel. 099-225-8660 Fax. 099-225-8601

在宅ケアセンター あさひ

- 居宅介護支援事業所あさひ

〒892-0822 鹿児島市泉町16-9
Tel. 099-226-9655 Fax. 099-226-9656

グループホーム さくらじま

- 2ユニット(18人)

〒891-1541 鹿児島市野尻町49-1
Tel. 099-245-0818 Fax. 099-245-0822

在宅ケアセンター さくらじま

- 居宅介護支援事業所さくらじま
- 訪問看護ステーションさくらじま

〒891-1541 鹿児島市野尻町59
Tel. 099-221-2080 Fax. 099-221-2082